

# パロット

- ① カードを いちまい ひきます
- ② そのカードにかいてあることを せんせいがよみます
- ③ せんせいがよんだとおりに おなじょうにくりかえします  
(このときカードをみることはできません)
- ④ まったくおなじょうによめたら カードをうけとります
- ⑤ いちばんおおくカードを<sup>て</sup>手にいれた人が <sup>ひと</sup>かちです。



# つながりさがし

## ルール

いま 今から せんせい 先生が ぶんしょう 文章を よ 読みます。

ここにでてくる3つの文のうち、

先生が読んだ文の つづ 続きになるような文をえら

んで ばんごう 番号にまるをしてください。



れい  
例

① ぽちはろじおくんのいぬです。

② たろうくんはぽちがだいすきです。

③ ぽちはねこです。



れい せんせい よ ぶんしょう  
例 先生の読んだ文章

「ぽちはたろうくんのかっているいぬ犬です。」

①ぽちはろじおくんのいぬです。

②たろうくんはぽちがだいすきです。

③ぽちはねこです。



## もんだい

- ①なぜならびょういんにいったからです。
- ②きょうはとてもげんきです。
- ③でもくすりをのんだらよくなりました。



## もんだい2

- ①だからあしたのてんきははれです。
- ②まりさんはとてもたのしみにしています。
- ③でもまりさんはねぼうしてしまいました。



# ジャスト<sup>テン</sup>10！

にんずう  
人数

3～4人（2人でも）

ひつよう  
必要なもの

トランプを1セット

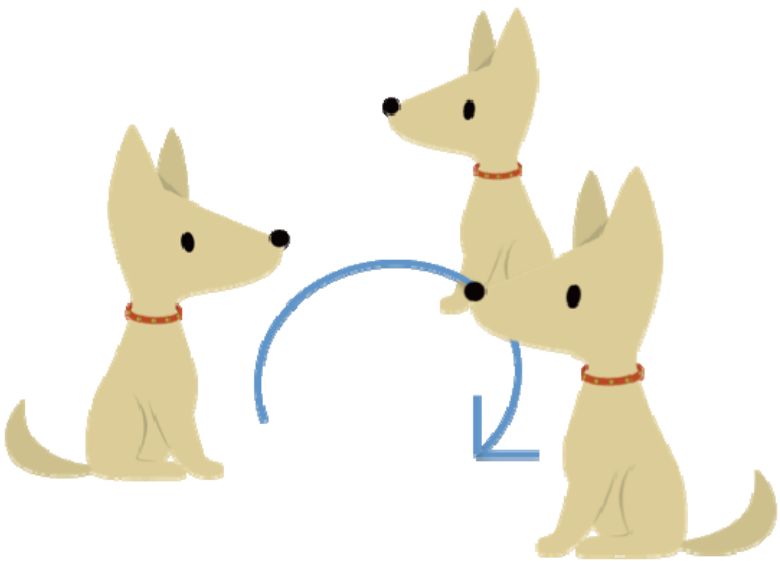


10をつくってカードを<sup>あつ</sup>集めるゲームです！



# ルール説明

1  
カードを1人<sup>まい</sup>3枚くばります。  
じゃんけんをして、<sup>じゅんばん</sup>順番を  
きめます。勝った人から<sup>か</sup>  
<sup>とけい</sup>時計まわりにします。



1枚ひく



1枚だして

2  
ひとり1枚ずつ<sup>ば</sup>場にカードをだします。  
1枚<sup>まい</sup>だしたら、山から1枚<sup>まい</sup>ひきます。  
これを<sup>じゅんばん</sup>順番に<sup>かえ</sup>くり返します。  
<sup>てもと</sup>手元はいつでも3枚です。



# 場の数をたして10になるようにしましょう



3

いま ば

今場の数は $2+4+1=7$ です。

3を出すと10になります。10になるときは「テン！」と出してきましょう。



4

10になったら、<sup>ば</sup>場にあったカードは<sup>ぜん</sup>全部<sup>とくてん</sup>10を作った人の得点になります。

<sup>てもと</sup>手元にとって、<sup>つぎ</sup>次の人がまた<sup>あたら</sup>新しいカードを<sup>ば</sup>場にだします。



<sup>とくてん</sup>この4枚が得点になります(枚数)<sup>まいすう</sup>

# 10をこえてしまうとき…

5

いま、<sup>ば</sup>場の数は9です。  
<sup>てもと</sup>手元のどのカードを出しても、  
10をこえてしまいませ



このひとの得点になります



10をこえてしまう場合も手札を  
<sup>まい</sup>1枚ださなくてははいけません。  
10をこえた時は、<sup>ば</sup>場の枚数は<sup>かず</sup>  
その前のひとの<sup>とくてん</sup>得点になります。



## 特殊なカード

6

5・J・Qをだしたときは、  
+5または-5になります。



この場合 $9-5=4$ にもできます

7

ジョーカー・Kをだしたときは  
場の合計ごうけいがゼロになります。

(その前にでていたカードも次に10に  
なった人がぜんぶもらえます。)



いま場の数は0になりました



# たくさんカードをとった人が勝ちです

## 勝ち負けの決め方

山のカードが全部ぜんぶなくなったら

(またはさいしょに時間をきめておく)

かくとくしたカードの枚数を数えます。

1番多くカードをもっていた人の勝ちです



とくしゆなカードや  
次の人に10をこえさせる工夫を  
取り入れてみよう